

# 新入学生および現職管理栄養士・栄養士の 就業意識と職業観との検討

大見奈緒子\*, 町田 和恵\*\*, 油田 幸子\*\*\*  
東 博文\*\*\*\*, 花本 秀子\*

Comparing Thoughts on Employment  
between New Students and Established Dietitians

Naoko Omi, Kazue Machida, Sachiko Aburada,  
Hirofumi Higashi and Hideko Hanaki

近年の若者世代は何事にも受け身であるといわれ、その結果、競争意識や上昇志向が低い傾向にあり、コミュニケーション能力が乏しいことが問題視されている。そうした中で、管理栄養士・栄養士においては専門的な知識やスキルのみならず、優れた見識と豊かな人間性を兼ね備えることが期待されている。そこで、養成校における今後の学生教育の一助とすることを目的に、新入学生と現職管理栄養士・栄養士を対象としアンケート調査を行い比較検討した。

卒後、明確に栄養士就業を希望する者は52.9%であった。専門職に必要な資質としては、新入学生、管理栄養士、栄養士のいずれも「責任感」を最も高く挙げていた。「就業希望」と専門職に必要な資質・能力の関連をみると、資質では、新入学生は「クヨクヨしない」、管理栄養士は「人間性」、「前向き」、「優しい」に、能力では、学生は「知識」と「調理技術」に、管理栄養士は「指導力」に有意な関連性を認めた。栄養士には資質・能力ともに有意な関連性はみられなかった。

**Key words:** [就業意識] [専門職に必要な資質] [専門職に必要な能力]

(Received September 24, 2009)

## I. はじめに

近年の若者世代は「与えられる」環境の中で成長し、何事にも受け身であるといわれ、その結果、競争意識や上昇志向が低い傾向にあるとされている。中村<sup>1)</sup>も、大学生の性格傾向は変化してきており、感情的な繊細さや行動面における積極性のなさ、対人関係における消極性が増していると、報告している。

\* 鹿児島純心女子短期大学生活学科食物栄養専攻 (〒890-8525 鹿児島市唐湊4丁目22番1号)

\*\* 鹿児島県立短期大学食物栄養専攻 (〒890-0005 鹿児島市下伊敷1丁目51番1号)

\*\*\* 鹿児島厚生連病院栄養管理科 (〒890-0061 鹿児島市天保山町22-25)

\*\*\*\* 鹿屋体育大学体育学部 (〒891-2393 鹿屋市白水町1)

さらに一方では、パソコンや携帯電話によるインターネット・メール通信の多用化によりコミュニケーション能力が乏しいことが問題視されている。平成17年に厚生労働省が「若年者雇用の実態把握」を目的として実施した企業実態調査<sup>2)</sup>では、若年正職員に望むことや身につけて欲しい能力は、「職業意識・勤労意欲」49.0%、「チャレンジ精神・向上心」40.4%、「マナー・社会常識・一般教養」39.4%、「強い責任感」37.6%、「コミュニケーション能力」27%を挙げ、若年者の実態と企業側が求める人材には隔たりがあることを示唆していた。

そうした中で、管理栄養士・栄養士の専門職においては「企画・立案・評価能力」や「行動変容につながる保健指導力」が有すべき資質として挙げられている<sup>3)</sup>。社会に暮らすすべての人々、個人や集団の健康・栄養・食の課題をアセスメントするとともに、多職種や関係機関と連携・協働して効果的な支援や活動を企画、立案、実施し、モニタリング、評価する力が求められているため、自己研鑽を惜しまず、専門的な知識やスキルのみならず、優れた見識と豊かな人間性を兼ね備えることが期待されている<sup>4)</sup>。

このような社会人、管理栄養士・栄養士が求められていることを深く受け止め、養成校における今後の学生教育の一助とすることを目的に、新入学生と現職管理栄養士・栄養士を対象としアンケート調査を行い比較検討したので報告する。

## II. 対象および方法

表1 対象

対象	人数
新入学生	n = 85
管理栄養士	n = 156
栄養士	n = 110

対象を表1に示す。平成20年度、本学および鹿児島県立短期大学の食物栄養専攻新入学生85名と、本県の現職管理栄養士156名、栄養士110名である。

現職者の内訳は表2に示す。年代をみると、管理栄養士は30～49歳が53.2%と最も多く、栄養士は20～29歳が74.5%と多かった。就業年数は、管理栄養士では5年以上が最も多く62.2%、栄養士は5年以下が最も多く72.7%であった。これは、本県における管理栄養士は短期大学卒業後の資格取得者が多いためである。職域においては管理栄養士・栄養士のいずれも病院・介護施設が最も多く、それぞれ67.3%、74.5%であった。

調査時期に関しては、学生を対象とし、卒業時に再度同様な調査を行い、教育養成による効果を見る予定であったため、入学直後の平成20年4月に集合調査法で実施し、現職者に対しても同時期に質問紙を郵送した。

なお、アンケート調査項目は、就業意識に関する項目、職業観や価値観、管理栄養士・栄養士の養成期間・内容に関する意識等であ

表2 現職者の内訳

項目		管理栄養士 n = 156 f (%)	栄養士 n = 110 f (%)
年代別	20～29歳	50 (32.1)	82 (74.5)
	30～49歳	83 (53.2)	22 (20.0)
	50歳～	23 (14.7)	6 (5.5)
就業年数	平均	13.4±9.9	6.5±8.3
	5年以下	59 (37.8)	80 (72.7)
	5年以上	97 (62.2)	30 (27.3)
職域	病院・介護施設	104 (66.7)	82 (74.5)
	それ以外	52 (33.3)	28 (25.5)

る。さらに、新入学生には表3に示すKT性格検査を行った。

表3 KT性格検査

S (自己抑制型)	1	口数が少ない	N (繊細型)	4	悩みやすい
	6	ひとりである方が楽だ		9	くよくよしやすい
	12	ひとりが好きだ		15	気分が回復しにくい
	18	気軽につきあえない方だ		21	悪く考えがち
	24	人とうちとけにくい		27	心配しやすい
	29	控えめである		32	悲観的である
	34	柔和である		37	とらわれやすい
	40	冗談が得意ではない		43	あせりを感じやすい
	46	自分については話さない		49	決心がつきにくい
Z (自己開放型)	2	のんきである	P (信念確信型)	5	自分本位だ
	7	楽天的である		10	命令したい方だ
	13	人の考えを受け入れる		16	マイペースだ
	19	根にもたない		22	自分なりにやる
	25	動作がゆっくりしている		28	がんこな方だ
	30	人と気楽につきあう		33	自分流にする
	35	素直である		38	自己表現をする
	41	途中でやめにくい		44	わがままだ
	47	人と関わるのが好き		50	自信が強い
E (着実型)	3	几帳面である			
	8	きれい好きだ			
	14	綿密である			
	20	粘り強い			
	26	整理整頓好き			
	31	最後までやり通す方だ			
	36	礼儀正しい			
	42	正義感が強い方だ			
	48	生真面目だ			

これらの質問紙は、統計ソフト「HALWIN」データとして入力し、データのスクリーニングを実施した後に、粗集計やカテゴリ併合によるクロス解析を行った。

### Ⅲ. 結果

#### 1. 新入学生の卒業後の栄養士就業希望状況

表4 新入生の卒業後栄養士就業希望

項目	f	% (95% CL)
栄養士就業希望	45	52.9 (42.3, 63.6)
それ以外	40	47.1 (36.4, 57.7)

新入学生の卒業後の栄養士就業希望状況を表4に示す。栄養士就業希望者は52.9%であり、それ以外の者は47.1%と就業を希望する者が5.8%高かった。

なお、質問紙では栄養士就業希望について「YES」「どちらかといえばYES」「どちらかといえばNO」「NO」と四択で質問したが、明確に「YES」と回答した者を就業希望者とし、以外の回答をそれ以外とするカテゴリ併合を行った。

#### 2. 管理栄養士・栄養士別の就業自己満足度

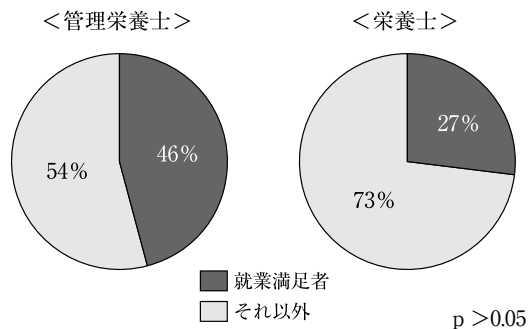


図1 管理栄養士・栄養士別の就業自己満足度

現職者の就業自己満足度を図1に挙げる。管理栄養士の46%は明確に専門職への就業に満足感を示しているが、栄養士は27%と、管理栄養士に比較すると約2割程度有意に低い傾向が認められた。

#### 3. 新入学生の性格傾向

表5 新入学生のKT性格検査

項目	S	Z	E	N	P	O
f (%)	4( 4.7)	23(27.1)	17(20.0)	15(17.6)	6( 7.1)	9(10.6)
項目	SZ	SP	EN	ZN	ZP	SE
f (%)	1( 1.2)	1( 1.2)	5( 5.9)	2( 2.4)	1( 1.2)	1( 1.2)

新入学生のKT性格検査結果を表5に示す。自己開放型であり感情に左右されやすく、気分で行動してしまう傾向がある

とするZが27.1%と最も多く、次いで、着実型で粘り強く、忍耐力、持久力があることが大きな特徴であるEが20.0%、繊細型であり感受性豊かで、細かいところによく気がつく一方ものごとを深く考えすぎてしまうことがあるとされるNが17.6%であった。

#### 4. 群別の専門職に必要と考える資質

表6-1に管理栄養士・栄養士の必要資質として提示した責任感、人間性、体力、精神力等を含む17項目を挙げる。

なお、新入学生においては、管理栄養士と栄養士の職務内容に関する知識がないことから、管理栄養士・栄養士を区別することなく一括して専門職として質問した。

新入学生および管理栄養士、栄養士が考える栄養士に必要な資質を表6-2に示す。新入学生では責任感が91.8%と最も高い値を示し有意差を認めた。次いで、精神力が70.6%、体力が65.9%と高かった。

管理栄養士が考える栄養士に必要な資質においても新入学生と同様な傾向を示し、最も高い値は責任感の84.6%で有意差を認めた。

栄養士が考える栄養士に必要な資質でも、新入学生、管理栄養士と同様に責任感87.3%に有意差がみられ、次いで、精神力73.6%、向上心69.1%を挙げていた。

表6-1 管理栄養士・栄養士に必要な資質として提示した項目

番号	項目	番号	項目
1	責任感	10	外向性
2	人間性	11	穏やか
3	体力	12	優しい
4	精神力	13	地道
5	前向き	14	勤勉努力
6	向上心	15	礼儀作法
7	積極性	16	クヨクヨしない
8	明るさ	17	その他
9	冷静沈着		

表6-2 新入学生および現職が考える栄養士に必要な資質

項目	新入学生		管理栄養士		栄養士	
	f	% (95% CL)	f	% (95% CL)	f	% (95% CL)
責任感	78	91.8(85.9, 97.6)	132	84.6(80.0, 90.3)	96	87.3(81.0, 93.5)
人間性	52	61.2(50.8, 71.5)	112	71.8(64.7, 78.9)	67	60.9(51.8, 70.0)
体力	56	65.9(55.8, 76.0)	105	67.3(60.0, 74.7)	73	66.4(57.5, 75.2)
精神力	60	70.6(60.9, 80.3)	99	63.5(55.9, 71.0)	81	73.6(65.4, 81.9)
前向き	30	35.3(25.1, 45.5)	73	46.8(40.0, 54.6)	42	38.2(29.1, 47.3)
向上心	36	42.4(31.8, 52.9)	102	65.4(58.0, 72.9)	76	69.1(60.5, 77.7)
積極性	39	45.9(35.3, 56.5)	84	53.8(46.0, 61.7)	63	57.3(48.0, 66.5)
明るさ	33	38.8(28.5, 49.2)	70	44.9(37.1, 52.7)	51	46.4(37.0, 55.7)
冷静沈着	32	37.6(27.3, 47.9)	42	26.9(20.0, 33.9)	38	34.5(25.7, 43.4)
外向性	21	24.7(15.5, 33.9)	42	26.9(20.0, 33.9)	27	24.5(16.5, 32.6)
穏やか	14	16.5( 8.5, 24.4)	30	19.2(13.0, 25.4)	19	17.3(10.2, 24.3)
優しい	14	16.5( 8.5, 24.4)	39	25.0(18.2, 31.8)	24	21.8(14.1, 29.5)
地道	14	16.5( 8.5, 24.4)	29	18.6(12.5, 24.7)	22	20.0(12.5, 27.5)
勤勉努力	31	36.5(26.2, 46.7)	50	32.1(24.7, 39.4)	49	44.5(35.3, 53.8)
礼儀作法	29	34.1(24.0, 44.2)	73	46.8(39.0, 54.6)	47	42.7(33.5, 52.0)
クヨクヨしない	22	25.9(16.6, 35.2)	50	32.1(24.7, 39.4)	37	33.6(24.8, 42.5)
その他	0	0.0( 0.0, 0.0)	3	1.9( 0.0, 0.0)	3	2.7( 0.0, 0.1)

なお、「積極性」と「前向き」は類似した設問であったことから、両項目ともに回答していた者について、いずれか一項目の回答者として検討した結果においても、新入学生が45.9%、

管理栄養士が53.8% , 栄養士が57.3%と, 責任感が最も高い数値を示している。

表6-3 現職が考える管理栄養士に必要な資質

項目	管理栄養士		栄養士	
	f	% (95% CL)	f	% (95% CL)
責任感	135	86.5(81.2, 91.9)	97	88.2(82.1, 94.2)
人間性	109	69.9(62.7, 77.1)	69	62.7(53.7, 71.8)
体力	85	54.5(46.7, 62.3)	50	45.5(36.1, 54.8)
精神力	100	64.1(56.6, 71.6)	69	62.7(53.7, 71.8)
前向き	69	44.2(36.4, 52.0)	42	38.2(29.1, 47.3)
向上心	106	67.9(60.6, 75.3)	75	68.2(59.5, 76.9)
積極性	98	62.8(55.2, 70.4)	60	54.5(45.2, 63.9)
明るさ	65	41.7(33.9, 49.4)	38	34.5(25.7, 43.4)
冷静沈着	70	44.9(37.1, 52.7)	61	55.5(46.2, 64.7)
外向性	68	43.6(35.8, 51.4)	43	39.1(30.0, 48.2)
穏やか	37	23.7(17.0, 30.4)	21	19.1(11.7, 26.4)
優しい	41	26.3(19.4, 33.2)	24	21.8(14.1, 29.5)
地道	35	22.4(15.9, 29.0)	21	19.1(11.7, 26.4)
勤勉努力	67	42.9(35.2, 50.7)	59	53.6(44.3, 63.0)
礼儀作法	73	46.8(39.0, 54.6)	48	43.6(34.4, 52.9)
クヨクヨしない	49	31.4(24.1, 38.7)	28	25.5(17.3, 33.6)
その他	2	1.3( 0.0, 3.0)	8	7.3( 2.4, 12.1)

表6-3に現職が考える管理栄養士に必要な資質を挙げる。管理栄養士が考える自身に必要な資質では、責任感が86.5%と最も高い値を示し有意差を認めた。次いで、人間性69.9%、向上心67.9%であった。一方、栄養士も管理栄養士と同様な傾向を示し、最も高かったのは責任感で88.2%であった。

表7-1に示す新入学生の「専門職への就業希望」と「管理栄養士・栄養士に必要と考える資質」の関連性をみると、「クヨクヨしない」という資質にのみオッズ比4.2で有意性を認めた。

表7-1 新入学生の就業希望と管理栄養士・栄養士に必要と考える資質との関連性

項目	カテゴリ	n = 85		オッズ比 (95% CL)	p (Fisher)
		就業希望	それ以外		
		f (%)	f (%)		
責任感	必 要	44(51.8)	34(40.0)	7.8(0.9, ∞)	0.0480
	それ以外	1( 1.2)	6( 7.1)		
人間性	必 要	30(35.3)	22(25.9)	1.7(0.6, 4.3)	0.3727
	それ以外	1( 1.2)	18(21.2)		
体力	必 要	30(35.3)	26(30.6)	1.1(0.4, 2.9)	1.1786
	それ以外	15(17.6)	14(16.5)		
精神力	必 要	35(41.2)	25(29.4)	2.1(0.7, 6.1)	0.1550
	それ以外	10(11.8)	15(17.6)		
前向き	必 要	19(22.4)	11(12.9)	1.9(0.7, 5.3)	0.1787
	それ以外	26(30.6)	29(34.1)		
向上心	必 要	22(25.9)	14(16.5)	1.8(0.7, 4.7)	0.2717
	それ以外	23(27.1)	26(30.6)		
積極性	必 要	24(28.2)	15(17.6)	1.9(0.7, 5.0)	0.1914
	それ以外	21(24.7)	25(29.4)		
明るさ	必 要	20(23.5)	13(15.3)	1.7(0.6, 4.4)	0.2755
	それ以外	25(29.4)	27(31.8)		
冷静沈着	必 要	19(22.4)	13(15.3)	1.5(0.6, 4.1)	0.3794
	それ以外	26(30.6)	27(31.8)		
外向性	必 要	9(10.6)	12(14.1)	0.6(0.2, 1.8)	0.3221
	それ以外	36(42.4)	28(32.9)		
穏やか	必 要	5( 5.9)	9(10.6)	0.4(0.1, 1.6)	0.2413
	それ以外	40(47.1)	31(36.5)		
優しい	必 要	6( 7.1)	8( 9.4)	0.6(0.2, 2.2)	0.5596
	それ以外	39(45.9)	32(37.6)		
地道	必 要	7( 8.2)	7( 8.2)	0.9(0.2, 3.1)	1.2227
	それ以外	38(44.7)	33(38.8)		
勤勉努力家	必 要	16(18.8)	14(16.5)	1.0(0.4, 2.7)	1.1794
	それ以外	29(34.1)	26(30.6)		
礼儀作法	必 要	14(16.5)	15(17.6)	0.8(0.3, 2.0)	0.6478
	それ以外	31(36.5)	25(29.4)		
クヨクヨしない	必 要	17(20.0)	5( 5.9)	4.2(1.3, 15.2)	0.0122
	それ以外	28(32.9)	35(41.2)		

表7-2に示す管理栄養士の「就業自己満足」と「自身を含めた管理栄養士に必要と考える資質」の間には、「人間性」にオッズ比4.0,「前向き」に2.0,「優しい」に2.7で有意な関連性がみられた。

表7-2 管理栄養士の就業自己満足と管理栄養士に必要な資質との関連性

項目	カテゴリ	n = 156		オッズ比 (95% CL)	p (Fisher)
		就業自己満足	それ以外		
		f (%)	f (%)		
責任感	必 要	65(41.7)	70(44.9)	2.3(0.8, 7.2)	0.1050
	それ以外	6( 3.8)	15( 9.6)		
人間性	必 要	60(38.5)	49(31.4)	4.0(1.7, 9.4)	0.0004
	それ以外	11( 7.1)	36(23.1)		
体力	必 要	38(24.4)	47(30.1)	0.9(0.5, 1.8)	0.8725
	それ以外	33(21.2)	38(24.4)		
精神力	必 要	46(29.5)	54(34.6)	1.1(0.5, 2.2)	1.1313
	それ以外	25(16.0)	31(19.9)		
前向き	必 要	38(24.4)	31(19.9)	2.0(1.0, 4.0)	0.0366
	それ以外	33(21.2)	54(34.6)		
向上心	必 要	47(30.1)	59(37.8)	0.9(0.4, 1.8)	0.7316
	それ以外	24(15.4)	26(16.7)		
積極性	必 要	45(28.8)	53(34.0)	1.0(0.5, 2.1)	1.1310
	それ以外	26(16.7)	32(20.5)		
明るさ	必 要	36(23.1)	29(18.6)	2.0(1.0, 4.0)	0.0501
	それ以外	35(22.4)	56(35.9)		
冷静沈着	必 要	33(21.2)	37(23.7)	1.1(0.6, 2.2)	0.7482
	それ以外	38(24.4)	48(30.8)		
外向性	必 要	34(21.8)	34(21.8)	1.4(0.7, 2.7)	0.3357
	それ以外	37(23.7)	51(32.7)		
穏やか	必 要	22(14.1)	15( 9.6)	2.1(0.9, 4.8)	0.0600
	それ以外	49(31.4)	70(44.9)		
優しい	必 要	26(16.7)	15( 9.6)	2.7(1.2, 6.0)	0.0102
	それ以外	45(28.8)	70(44.9)		
地道	必 要	16(10.3)	19(12.1)	1.0(0.4, 2.3)	1.1525
	それ以外	55(35.3)	66(42.3)		
勤勉努力家	必 要	29(18.6)	38(24.4)	0.9(0.4, 1.7)	0.7455
	それ以外	42(26.9)	47(30.1)		
礼儀作法	必 要	39(25.0)	34(21.8)	1.8(0.9, 3.6)	0.0768
	それ以外	32(20.5)	51(32.7)		
クヨクヨしない	必 要	25(16.0)	24(15.4)	1.4(0.7, 2.9)	0.3900
	それ以外	46(29.5)	61(39.1)		

表7-3に挙げた栄養士の「就業自己満足」と「自身を含めた栄養士に必要と考える資質」の関連性をみると、いずれの項目においても有意性は認められなかった。



表7-3 栄養士の就業自己満足と栄養士に必要な資質との関連性

項目	カテゴリ	n = 110		オッズ比 (95% CL)	p (Fisher)
		就業 自己満足 f (%)	それ以外 f (%)		
責任感	必 要	25(22.7)	71(64.5)	0.6(0.2, 2.4)	0.5228
	それ以外	5( 4.5)	9( 8.2)		
人間性	必 要	18(16.4)	49(44.5)	0.9(0.4, 2.4)	1.1717
	それ以外	12(10.9)	31(28.2)		
体力	必 要	17(15.5)	56(50.9)	0.6(0.2, 1.5)	0.2570
	それ以外	13(11.8)	24(21.8)		
精神力	必 要	23(20.9)	58(52.7)	1.2(0.4, 3.7)	0.8092
	それ以外	7( 6.4)	22(20.0)		
前向き	必 要	10( 9.1)	32(29.1)	0.8(0.3, 2.0)	0.6602
	それ以外	20(18.2)	48(43.6)		
向上心	必 要	20(18.2)	56(50.9)	0.9(0.3, 2.3)	0.8178
	それ以外	10( 9.1)	24(21.8)		
積極性	必 要	19(17.3)	44(40.0)	1.4(0.6, 3.7)	0.5184
	それ以外	11(10.0)	36(32.7)		
明るさ	必 要	16(14.5)	35(31.8)	1.5(0.6, 3.7)	0.3978
	それ以外	14(12.7)	45(40.9)		
冷静沈着	必 要	8( 7.3)	30(27.3)	0.6(0.2, 1.7)	0.3797
	それ以外	22(20.0)	50(45.4)		
外向性	必 要	8( 7.3)	19(17.3)	1.2(0.4, 3.3)	0.8053
	それ以外	22(20.0)	61(55.5)		
穏やか	必 要	3( 2.7)	16(14.5)	0.4(0.1, 1.8)	0.2684
	それ以外	27(24.5)	64(58.2)		
優しい	必 要	2( 1.8)	22(20.0)	0.2(0.0, 0.9)	0.0196
	それ以外	28(25.5)	58(52.7)		
地道	必 要	7( 6.4)	15(13.6)	1.3(0.4, 4.0)	0.7900
	それ以外	23(20.9)	65(59.1)		
勤勉努力家	必 要	10( 9.1)	39(35.5)	0.5(0.2, 1.4)	0.1967
	それ以外	20(18.2)	41(37.3)		
礼儀作法	必 要	13(11.8)	34(30.9)	1.0(0.4, 2.6)	1.1703
	それ以外	17(15.5)	46(41.8)		
クヨクヨしない	必 要	10( 9.1)	27(24.5)	1.0(0.4, 2.6)	1.1790
	それ以外	20(18.2)	53(48.2)		

なお、就業に対する自己満足は管理栄養士・栄養士がそれぞれの資格・立場で実働した結果、生じた意識であるため、管理栄養士は管理栄養士として、栄養士は栄養士としての就業自己満足感と自らの資格に必要と考える資質・能力の関連性を検討した。

## 5. 群別の専門職に必要と考える能力

表8-1 管理栄養士・栄養士に必要な能力として提示した項目

番号	項目	番号	項目
1	知識	7	協調性
2	調理技術	8	人前で話す
3	献立作成	9	統率力
4	コミュニケーション能力	10	社交能力
5	OA能力	11	臨機応変
6	指導力	12	その他

管理栄養士・栄養士業務遂行に必要な能力として提示した知識、調理技術、献立作成などを含む12項目を表8-1に示す。

表8-2の新入学生および管理栄養士、栄養士が考える「栄養士に必要な能力」をみると、新入学生は管理栄養士・栄養士という専門職には「知識」が必要であると考えている者が89.4%と最も高く、次いで「調

表8-2 新入学生および現職が考える栄養士に必要な能力

項目	新入学生		管理栄養士		栄養士	
	f	% (95% CL)	f	% (95% CL)	f	% (95% CL)
知識	76	89.4(82.9, 96.0)	105	67.3(59.9, 74.7)	88	80.0(72.5, 87.5)
調理技術	64	75.2(66.1, 84.5)	116	74.4(67.5, 81.2)	79	71.8(63.4, 80.2)
献立作成	62	72.9(63.5, 82.4)	120	76.9(70.3, 83.5)	84	76.4(68.4, 84.3)
コミュニケーション能力	63	74.1(64.8, 83.4)	100	64.1(56.6, 71.6)	80	72.7(64.4, 81.1)
OA能力	6	7.1( 1.6, 12.5)	61	39.1(31.4, 46.8)	40	36.4(27.4, 45.4)
指導力	61	71.8(62.2, 81.3)	61	39.1(31.4, 46.8)	59	53.6(44.3, 63.0)
協調性	49	57.6(47.1, 68.2)	97	62.2(54.6, 70.0)	62	56.4(47.1, 65.6)
人前で話す	45	52.9(42.3, 63.6)	48	29.5(23.5, 38.0)	51	46.4(37.0, 55.7)
統率力	16	18.8(10.5, 27.1)	37	27.3(17.0, 30.4)	41	37.3(28.2, 46.3)
社交能力	29	34.1(24.0, 44.2)	46	29.5(22.3, 36.6)	40	36.4(27.4, 45.4)
臨機応変	57	67.1(57.1, 77.1)	81	51.9(44.1, 59.8)	71	64.5(55.6, 73.5)
その他	0	0.0( 0.0, 0.0)	3	1.9( 0.0, 0.0)	3	2.7( 0.0, 0.1)

理技術」が75.2%、「献立作成」が75.2%であった。

一方、管理栄養士は栄養士に必要な能力として、「調理技術」を74.4%が挙げ、次いで「献立作成」76.9%、「知識」67.3%の順であった。さらに栄養士は「知識」80.0%、「献立作成」76.4%、「コミュニケーション能力」72.7%を順に挙げていた。

表8-3に現職が考える管理栄養士に必要な能力を示す。管理栄養士が考える自身に必要な能力では、「知識」が84.6%で最も高く、次いで「コミュニケーション能力」が82.1%、「指導力」が81.4%であったが有意な関連性は認めない。

一方、栄養士は管理栄養士に必要な能力として「知識」と「指導力」を同率の87.3%で最も高く挙げ、有意差を認めた。次いで「人前で話す」が70.9%であった。

表8-3 現職が考える管理栄養士に必要な能力

項目	管理栄養士		栄養士	
	f	% (95% CL)	f	% (95% CL)
知識	132	84.6(79.9, 90.3)	96	87.3(81.0, 93.5)
調理技術	94	60.3(52.6, 67.9)	54	49.1(39.7, 58.4)
献立作成	94	60.3(52.6, 67.9)	67	60.9(51.8, 70.0)
コミュニケーション能力	128	82.1(76.0, 88.1)	74	67.3(58.5, 76.0)
OA能力	88	56.4(48.6, 64.2)	43	39.1(30.0, 48.2)
指導力	127	81.4(75.3, 87.5)	96	87.3(81.0, 93.5)
協調性	102	65.4(57.9, 72.9)	53	48.2(38.8, 57.5)
人前で話す	109	69.9(62.7, 77.1)	78	70.9(62.4, 79.4)
統率力	94	60.3(52.6, 67.9)	60	54.5(45.2, 63.9)
社交能力	73	46.8(39.0, 54.6)	47	42.7(33.5, 52.0)
臨機応変	112	71.8(64.7, 78.9)	74	67.3(58.5, 76.0)
その他	9	5.8( 2.1, 9.4)	5	4.5( 2.0, 10.2)

表9-1に新入学生の「専門職への就業希望」と「管理栄養士・栄養士に必要と考える能力」との関連性を示す。新入学生においては、就業希望者の全てが「知識」を必要としたことからオッズ比27.4と高い関連性を示す傾向がみられた。

表9-1 新入学生の就業希望と管理栄養士・栄養士に必要と考える能力との関連性

項目	カテゴリ	n = 85		オッズ比 (95% CL)	p (Fisher)
		就業希望 f (%)	それ以外 f (%)		
知識	必要	45(52.9)	31(36.5)	27.4(2.2, ∞)	0.0028
	それ以外	0( 0.0)	9(10.6)		
調理技術	必要	40(47.1)	24(28.2)	5.3(1.6, 19.3)	0.0026
	それ以外	5( 5.9)	14(16.5)		
献立作成能力	必要	32(37.6)	30(35.3)	0.8(0.3, 2.4)	0.8080
	それ以外	13(15.3)	10(11.8)		
コミュニケーション能力	必要	30(35.3)	33(38.8)	0.4(0.1, 1.3)	0.1368
	それ以外	15(17.6)	7( 8.2)		
OA能力	必要	2( 2.4)	4( 4.7)	0.4(0.1, 2.9)	0.4138
	それ以外	43(50.6)	36(42.4)		
指導力	必要	36(42.4)	25(29.4)	2.4(0.8, 7.1)	0.0933
	それ以外	9(10.6)	15(17.6)		
協調性	必要	28(32.9)	21(24.7)	1.5(0.6, 3.9)	0.3880
	それ以外	17(20.0)	19(22.4)		
人前で話す能力	必要	27(31.8)	18(21.2)	1.8(0.7, 4.8)	0.1956
	それ以外	18(21.2)	22(25.9)		
統率力	必要	9(10.6)	7( 8.2)	1.2(0.3, 4.0)	0.7893
	それ以外	36(42.4)	33(38.8)		
社交能力	必要	12(14.1)	17(20.0)	0.5(0.2, 1.3)	0.1695
	それ以外	33(38.8)	23(27.1)		
臨機応変	必要	30(35.3)	27(31.8)	1.0(0.4, 2.6)	1.1820
	それ以外	15(17.6)	13(15.3)		

表9-2 管理栄養士の就業自己満足と管理栄養士に必要な能力との関連性

項目	カテゴリ	n = 156		オッズ比 (95% CL)	p (Fisher)
		就業 自己満足 f (%)	それ以外 f (%)		
知識	必 要	61(39.1)	71(45.5)	1.2(0.5, 3.2)	0.824
	それ以外	10( 6.4)	14( 9.0)		
調理技術	必 要	46(29.5)	48(30.8)	1.4(0.7, 2.9)	0.327
	それ以外	25(16.0)	37(23.7)		
献立作成能力	必 要	45(28.8)	49(31.4)	1.3(0.6, 2.6)	0.513
	それ以外	26(16.7)	36(23.1)		
コミュニケーション能力	必 要	63(40.4)	65(41.7)	2.4(0.9, 6.5)	0.060
	それ以外	8( 5.1)	20(12.8)		
OA能力	必 要	40(25.6)	48(30.8)	1.0(0.5, 2.0)	1.129
	それ以外	31(19.9)	37(23.7)		
指導力	必 要	63(40.4)	64(41.0)	2.6(1.0, 6.9)	0.039
	それ以外	8( 5.1)	21(13.5)		
協調性	必 要	46(29.5)	56(35.9)	1.0(0.5, 1.9)	1.133
	それ以外	25(16.0)	29(18.6)		
人前で話す能力	必 要	54(34.6)	55(35.3)	1.7(0.8, 3.7)	0.161
	それ以外	17(10.9)	30(19.2)		
統率力	必 要	45(28.8)	49(31.4)	1.3(0.6, 2.6)	0.513
	それ以外	26(16.7)	36(23.1)		
社交能力	必 要	34(21.8)	39(25.0)	1.1(0.5, 2.1)	0.872
	それ以外	37(23.7)	46(29.5)		
臨機応変	必 要	51(32.7)	61(39.1)	1.0(0.5, 2.1)	1.142
	それ以外	20(12.8)	24(15.4)		

また、「調理技術」にはオッズ比5.3で関連性を認めた。

表9-2に示した管理栄養士の「就業自己満足」と「管理栄養士に必要な能力との関連性」をみると、管理栄養士においては、「指導力」にのみオッズ比2.6で有意な関連性を認めた。

表9-3に挙げた栄養士の「就業自己満足」と「自身を含めた栄養士に必要な能力」の関連性をみると、いずれの項目においても有意性は認められなかった。

表9-3 栄養士の就業自己満足と栄養士に必要な能力との関連性

項目	カテゴリ	n = 110		オッズ比 (95% CL)	p (Fisher)
		就業自己満足 f (%)	それ以外 f (%)		
知識	必 要	24(21.8)	64(58.2)	1.0(0.3, 3.3)	1.2101
	それ以外	6( 5.5)	16(14.5)		
調理技術	必 要	22(20.0)	57(51.8)	1.1(0.4, 3.2)	1.1852
	それ以外	8( 7.3)	23(20.9)		
献立作成能力	必 要	22(20.0)	62(56.4)	0.8(0.3, 2.3)	0.8014
	それ以外	8( 7.3)	18(16.4)		
コミュニケーション能力	必 要	24(21.8)	56(50.9)	1.7(0.6, 5.4)	0.3446
	それ以外	6( 5.5)	24(21.8)		
OA能力	必 要	11(10.0)	29(26.4)	1.0(0.4, 2.6)	1.1754
	それ以外	19(17.3)	51(46.4)		
指導力	必 要	15(13.6)	44(40.0)	0.8(0.3, 2.1)	0.6725
	それ以外	15(13.6)	36(32.7)		
協調性	必 要	14(12.7)	48(43.6)	0.6(0.2, 1.5)	0.2806
	それ以外	16(14.5)	32(29.1)		
人前で話す能力	必 要	14(12.7)	37(33.6)	1.0(0.4, 2.6)	1.1695
	それ以外	16(14.5)	43(39.1)		
統率力	必 要	12(10.9)	29(26.4)	1.2(0.5, 3.0)	0.8253
	それ以外	18(16.4)	51(46.4)		
社交能力	必 要	8( 7.3)	32(29.1)	0.5(0.2, 1.5)	0.2664
	それ以外	22(20.0)	48(43.6)		
臨機応変	必 要	21(19.1)	50(45.5)	1.4(0.5, 3.8)	0.5098
	それ以外	9( 8.2)	30(27.3)		

#### Ⅳ. 考 察

##### 1. 新入学生の卒業後の栄養士就業希望状況

新入学生による卒業後の栄養士就業希望状況をみると本対象は52.9%で、平成17年度に埼玉県5)の短期大学生を対象とした大橋の報告する希望者64.3%より1割程度低かった。

一方、日本栄養士会が調査した短期大学の栄養士就業者数は、平成18年度が42.7%、平成19年度が42.6%であり6)、大橋5)報告および本調査における入学時の希望数を1～2割下回っていた。

この背景には、2年間の履修を通して専門職への魅力を感じなくなったり、自信を無くしたり、就職先が少なく就労に至らなかったことなどが推測されることから、卒業時に調査する予定である。

## 2. 管理栄養士・栄養士別の就業自己満足度

平成12年4月に栄養士法<sup>9)</sup>の改正が行われ、平成14年には栄養士・管理栄養士養成施設におけるカリキュラムが改定<sup>10)</sup>され、平成20年4月からは健康増進法による特定健診・特定保健指導が開始された<sup>11)</sup>。これらを機に、管理栄養士の職務内容は、食品などのモノから患者などの人へと、活躍する場面を移行している。さらに、医療の現場においては栄養管理実施加算が新設され、NSTの導入に伴い経口栄養法だけでなく、経管栄養や静脈栄養などの栄養給与法の違いに対応した栄養管理技術が求められるようになってきた<sup>12)</sup>。三浦ら<sup>13)</sup>は、全国の済生会病院全施設における栄養管理実施加算の評価により管理栄養士が病棟進出を果たし、積極的に栄養管理を実施し、89.3%の施設で「栄養管理への理解が深まった」「職種間連携が深まった」「栄養管理のスキルアップが図られた」「患者QOLが向上した」「情報のシステム化・共有化が図られた」の5項目で成果を上げたと報告している。

一方、藤元ら<sup>7)</sup>は、栄養士の職務について主な仕事を「献立作成」71.2%、「食材発注」60.3%と報告し、梅原ら<sup>8)</sup>は、栄養士が1日の8割を調理作業に費やしていると報告している。

栄養士法の第一条には栄養士の業務を「栄養の指導を生業とする」としているが、病院や老人保健施設などの特定給食施設の現場では、管理栄養士は人を対象とした栄養指導・教育を担当し、栄養士は給食管理を担当するという所謂「すみ分け」が進んでいる。社会のニーズに伴い、管理栄養士の職務内容が明確化し、知識・技術の高度化が要求されることで自己実現の欲求が生じ、仕事へのやり甲斐意識が高まり、その結果、就業自己満足度が栄養士に比較して2割弱有意に高かったと推測される。

## 3. 新入学生の性格傾向

新入学生のKT性格検査結果をみると、自己開放型で感情に左右されやすく、気分で行動してしまう傾向があり、対人面においては周囲の人と気軽に付き合い、世話好き、親切、開放的で、人との調和を大切にする一方、思慮深さに欠け、軽率な行動をとる面もみられるというZ（自己解放型）が最も高かった。松田<sup>14)</sup>らは携帯電話によるメールの使用頻度が多いほど社会的で自己開示性が高いと報告しているが、本対象学生も携帯電話所持率が100%でメールの多用が推測されることから、松田の報告と同様な性格傾向がみられた。これは、先に述べた、携帯メール通信の多用化によるコミュニケーション能力の低下現象と矛盾するようだが、現代若者は「傷つくことには敏感で、傷つけることには鈍感」とされ、角<sup>15)</sup>も同様に、現代若者は親密さや安心感を求める一方で、関係性に伴う心理的負担を忌避する方向が強く、他者のプライバシー（生き方に直接触れる部分）に介入したと報告していることから、メール通信は顔の見えない間接的コミュニケーション能力であり、対面する直接的コミュニケーション能力においてはやはり低下現象にあるといえる。

次いで、着実型が多かった。これは私見ではあるが、履修科目数、レポート提出、校外実習と多忙な専攻に入学する食物栄養専攻学生に特有な性格傾向であると思われる。

### 4-1. 群別の専門職に必要なと考える資質

新入学生の考える管理栄養士・栄養士に必要な資質、現職者が考える栄養士に必要な資質は、

いずれも責任感が有意に高い結果を示した。新入学生は、専門職の職務内容を学んでいないことから社会人としての必要資質と考えたのではないかと推測される。しかし、小・中学校時には学校給食の喫食体験があることから、栄養士の業務を若干見聞きする機会はあったと考えられることから、この時点では、アレルギー疾患児童・生徒への対応や異物混入・食中毒防止といった事項に留意して、安心・安全かつ栄養バランスのとれた給食提供を基本とする責務があることを理解し、栄養士・管理栄養士には「責任感」が必要であると認識した可能性は高い。現職者は病院勤務者が多かったことから、食事提供時間などの基本を厳守して、安心・安全で、かつ病態に適応した個別対応食を提供しなければならない責任があることを知っているためと推測される。

一方、管理栄養士に必要な資質としては、管理栄養士・栄養士のそれぞれが同様に責任感を最も高く挙げ有意差を認めた。また、有意な差異は認めなかったが、両者がともに「人間性」と「向上心」を上位に挙げ、同様な傾向を示した。これは、管理栄養士と栄養士が協働することから、必要資質の捉え方が一致したものと推測される。

#### 4-2. 群別の「就業意識」と専門職に必要と考える資質

新入学生の就業希望と管理栄養士・栄養士に必要と考える資質との関連性では、「クヨクヨしない」という資質に有意な関連性を認めた。大嶽<sup>16)</sup>は、入学時に進路を決定している学生は、未決定の学生に比べて仕事への意気込みが高く、進路選択の不安が低かったと報告している。

また、安藤<sup>17)</sup>は、保育系短期大学の学生は、自己決定欲求を強く持つ場合、就職についても自律的に取り組み無力状態に陥りにくいと報告している。栄養士養成校も保育士養成校と同様に、専門職の養成を目的としていることから、入学時に明確に「栄養士になりたい」と希望する学生は、不安感が低く、自律的で、無力状態に陥りにくく、こうした性格傾向が管理栄養士・栄養士に必要な資質として「クヨクヨしない」ことを挙げたと推測される。また、南<sup>18)</sup>らは、福祉系短期大学生を対象にした研究で「専攻する学問を研究したいから」という入学動機は自己効力感を高める因子になっていると報告している。これらのことから、望ましい職業観を確立させるには、入学早々に専門職就業希望の動機付けを行うことが一つの方法であると示唆された。

管理栄養士は自身を含めた管理栄養士に必要な資質として、「人間性」、「前向き」、「優しい」を有意に挙げていた。日本栄養士会は平成18年に実施した入院栄養管理実施加算に関する調査で、栄養管理実施加算導入後は実施前と比較して管理栄養士の病棟訪問回数が増えた<sup>19)</sup>と報告している。さらに、患者との接触増加に伴いカウンセリングのスキルが求められている<sup>20)</sup>という報告もある。田村<sup>21)</sup>も、チーム医療においては多職種が「お互いを認め合い意見を尊重しながら、十分なコミュニケーションをとってメンバー間の信頼関係を築いていくことが必要である」と報告している。

「人間性」や「優しい」は弱者である患者などと向き合う場合には必要な資質であるためと思われる。一方、栄養士においては自身を含む栄養士に必要な資質として、人に向き合う場合に必要とされる項目が有意性を示さなかったのは、給食管理業務が中心になっているためと推測される。

### 5-1. 群別の専門職に必要と考える能力

新入学生は専門職に必要な能力として、知識、調理技術、献立作成を上位に挙げていた。「調理」や「献立作成」を挙げていたのは、これらが栄養士の主な業務であると認識していたためと考えられる。芦川<sup>22)</sup>も、オープンキャンパスへの来校高校生が描く栄養士のイメージとして90%以上が「学校などの給食」と回答し、実際の栄養士活動をみた経験は4割程度で、そのうち「学校などの給食室」で姿を見たとした者が最も多く74.3%であったと報告している。

しかし、実際には学生の家庭における食事作りの体験や調理経験は減少傾向<sup>23)</sup>にあり、栄養士養成課程の入学生でも献立作成能力の低下が指摘され<sup>24)</sup>問題視されている。こうした中で、西村<sup>25)</sup>は、栄養士就業希望の学生は、献立作成に対する意識が有意に高いことを報告していることから、栄養士就業希望を高めることが献立作成能力の向上に繋がると考えられる。

管理栄養士が考える栄養士に必要な能力で最も高かった項目は、調理技術であり、次いで献立作成能力であったが、管理栄養士と栄養士の業務分担が明確になり、栄養士に期待されている業務内容は、フードサービスであることが示唆された。

一方、栄養士は自身を含めた栄養士に最も必要な能力として、知識や献立作成を挙げていた。藤本<sup>7)</sup>は、栄養士が職場で役立った知識・技術を「献立・調理」に関する知識であったと報告していることから、本対象の挙げた知識も献立・調理に関連するものであることが推測される。

管理栄養士は自らに必要な能力として「知識」「コミュニケーション能力」「指導力」を挙げ、栄養士も同様に管理栄養士には「知識」「指導力」「人前で話す」などのヒトを対象に教育・指導する場合に必要とされる能力を挙げていた。このことから、管理栄養は「ヒト」を、栄養士は「モノ」をとする「すみ分け」が管理栄養士・栄養士の中に浸透しつつあることが伺えた。

### 5-2. 群別の「就業意識」と専門職に必要と考える能力

新入学生では「専門職への就業希望」が「知識」と「調理技術」に関連性を示し、管理栄養士においては「就業自己満足」が「指導力」という能力にのみ関連性を認めた。村山<sup>26)</sup>は「21世紀の管理栄養士養成のあり方検討会」による改革以降の基本的な考えとして管理栄養士に求められている能力はマネジメント能力であり、履修カリキュラムにおいても専門科目の目標にその方向性が現れていると報告していることから、実際の就業現場において、管理栄養士に指導力という資質が要求される傾向が高まっているためと推測される。

その一つとして、管理栄養士は給食経営管理を円滑に進めるにあたって、栄養士・調理師に対する献立作成や調理技術の指導があり、さらに、傷病者が入院している間の食事管理や栄養教育・指導だけでなく、退院後の食事のあり方をも教育・指導する責務がある。

そのためには、柔軟かつ臨機応変な栄養素コントロールの献立作成能力や調理技術は必須といえる。さもないれば、管理栄養士の行う栄養教育・指導は机上の空論でしかなく社会のニーズに応えることは出来ないと考えられる。

しかし一方で、佐々木<sup>27)</sup>は管理栄養士養成校3年生の女子学生を対象とした調理技術等に関する調査で、中学・高校時代に家庭で「料理作り」や「料理の手伝い」をほとんどしなかった者が各82.7%、61.6%と高率で、献立作成の際には食材料費や施設・設備機器に留意する意識が



低率であったと報告しており、さらに、管理栄養士養成校における調理学関連のカリキュラムは栄養士法<sup>9)</sup>の改正に伴い非常にタイトになっている<sup>28)</sup>。

このことから、今後、管理栄養士養成校においては「ヒト」を対象にした資質・能力だけでなく、フードサービスに関連する資質・能力の育成および充実が期待される。また、栄養士養成施設においても、栄養士実務3年後の管理栄養士国家試験受験資格が認められるかぎり「管理栄養士の卵」と認識し、給食管理業務に必要な資質・能力の育成だけでなく、コミュニケーション能力を始めとする人間教育を強化する必要がある。いずれも、所謂、生活観のある管理栄養士・栄養士の誕生が望まれる。そのためにも、臨地校外実習500時間導入等の見直しには期待したい。

なお、チーム医療が多職種協働であるように、小・中学校現場においても食育指導は地域・家庭・学校が連携することを求めている。他のフィールドで働く栄養も同様である。養成校もまた現職管理栄養士・栄養士の協力をあおぎながら教育にあたりたいと願っている。

本研究の対象である新入学生は、2年間の履修を終えて平成21年3月に卒業を迎える。そこで、2年間の養成による就業希望状況や職業観の変化を検討し、有用な栄養士教育養成の一助とすることを目的に、卒業時には入学時と同様のアンケート調査を実施する予定である。

なお、2報として鹿児島県立短期大学紀要に「管理栄養士・栄養士の職業に魅力を感じず新入生、現職管理栄養士・栄養士の職業観についての検討」を投稿している。

## Ⅶ. 要 約

### 1. 新入学生の卒業後の栄養士就業希望状況

新入学生による卒業後の栄養士就業希望状況は52.9%で、埼玉県の短期大学生の希望数より1割程度低かった。しかし、日本栄養士会調査による短期大学生を対象とした卒業後の栄養士就業者数は、本対象および埼玉県の結果より1～2割下回っていた。

### 2. 管理栄養士・栄養士別の就業自己満足度

就業自己満足度は管理栄養士が栄養士より2割弱有意に高かった。社会のニーズに対応し、平成12年4月の栄養士法<sup>9)</sup>改正、平成14年の栄養士・管理栄養士養成施設におけるカリキュラム改定<sup>10)</sup>、栄養管理実施加算の導入、平成20年4月からの特定健診・特定保健指導開始<sup>11)</sup>などが行われ、それに伴い、管理栄養士の職務内容が明確化し、知識・技術の高度化が要求されるようになったことで自己実現の欲求が生じ、仕事へのやり甲斐意識が高まったためと考えられる。

### 3. 新入学生の性格傾向

松田<sup>14)</sup>らはメール使用頻度が多いほど社会的で自己開示性が高いと報告しているが、本対象の新入学生の性格も自己開放型が最も高かった。これは、携帯メール通信の多用化によるコミュニケーション能力の低下現象と矛盾するようだが、現代若者は「傷つくことには敏感で、傷つけることには鈍感」であるとされ、角<sup>15)</sup>も同様に、現代若者は親密さや安心感を求める一方で、関係性に伴う心理的負担を忌避する方向が強くなり、他者のプライバシー（生き方に直接触れる部

分)に介入したと報告していることから、メール通信は顔の見えない間接的コミュニケーション能力であり、対面する直接的コミュニケーション能力においてはやはり低下現象にあるといえる。

#### 4-1. 群別の専門職に必要と考える資質

新入学生の考える専門職に必要な資質、現職者が考える栄養士に必要な資質は、いずれも責任感が有意に高かった。新入学生は、一般的に社会人としての資質を回答する一方、学校栄養士に接触する機会があったと推測されることから、食中毒予防など栄養士業務に責任が伴うことを理解していた可能性が高い。また、現職者は業務遂行上で常に責任を持つことを要求されているためと推測される。管理栄養士に必要な資質では、管理栄養士・栄養士のそれぞれが同様に責任感を最も高く挙げ有意差を認め、次いで、両者ともに「人間性」と「向上心」を上位に挙げていた。

#### 4-2. 群別の「就業意識」と専門職に必要と考える資質

新入学生の就業希望者は「クヨクヨしない」という資質が必要であると認識していた。管理栄養士は自身を含めた管理栄養士には「人間性」、「前向き」、「優しい」が必要な資質としていた。これは、入院栄養管理実施加算導入で病棟訪問回数が増えたことに伴うカウンセリングスキルの向上、チーム医療におけるコミュニケーション能力の必要性が高まったため、人に向き合う場合に必要項目に有意性を示したと推測される。

一方、栄養士には有意な関連性を認めなかった。

#### 5-1. 群別の専門職に必要と考える能力

新入学生は専門職に必要な能力として、知識、調理技術、献立作成を上位に挙げ、「調理」や「献立作成」を栄養士の主な業務であると認識している傾向がみられた。

管理栄養士は栄養士に必要な能力として調理技術や献立作成能力を最も高く挙げていた。これは現場において「栄養士は給食管理を、管理栄養士はヒトを対象にした指導・教育を」という業務分担がすすみ、栄養士にはフードサービス業務を期待していることが示唆された。また、栄養士自身も必要な能力として調理に関する知識や献立作成を挙げていた。

管理栄養士に必要な能力として、管理栄養士は「知識」「コミュニケーション能力」「指導力」を挙げ、栄養士も同様に管理栄養士には「知識」「指導力」「人前で話す」などのヒトを対象に教育・指導する場合に必要とされる能力を挙げていた。

#### 5-2. 群別の「就業意識」と専門職に必要と考える能力

新入学生においては「就業希望」が「知識」と「調理技術」能力に関連性を示し、管理栄養士では、「就業自己満足」が「指導力」という能力にのみ関連性を認めた。管理栄養士にはマネジメント能力やヒトに対する栄養指導・栄養教育の実践が求められ期待されているためと思われる。

## Ⅷ. 参考文献

- 1) 中村晃：大学生の性格における年代的变化，千葉商科大学紀要，Vol.41，No.3 1～19，2003
- 2) 厚生労働省：「平成17年度企業における若年者雇用実態調査結果の概要」2006  
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/koyou/keitai/05/index.html>
- 3) 西山正徳他：管理栄養士・栄養士に期待することと日本栄養士会の役割，日本栄養士会雑誌，Vol.51，No.16～14，2008
- 4) 日本栄養改善学会理事会：「管理栄養士養成過程におけるモデルコアカリキュラム」の提案，栄養学雑誌，vol.67，No.4 202～232，2009
- 5) 大橋伸次：栄養教諭志望者の意識について，国際学院埼玉短期大学紀要，vol.27，127～130，2006
- 6) 平成19年度管理栄養士・栄養士養成課程卒業生の就職実態調査の結果，日本栄養士会雑誌，Vol.52，No.2 64～65，2009
- 7) 藤本さつき他：食物栄養専攻卒業生の実態調査から栄養士教育を考える，奈良佐保短期大学紀要，vol.14，55～61，2006
- 8) 梅原頼子他：栄養指導に関する研究－第17報 管理栄養士と栄養士の勤務中のエネルギー消費量について－鈴鹿国際大学短期大学部紀要，vol.24，19～26，2004
- 9) 「栄養士法」平成12年4月7日改正 法律第38号
- 10) 厚生労働省：「管理栄養士・栄養士養成施設カリキュラム等に関する検討報告書」平成13年2月5日，[http://www.jil.go.jp/kisya/kenkou/20010205\\_02\\_ke/20010205\\_02\\_ke.html](http://www.jil.go.jp/kisya/kenkou/20010205_02_ke/20010205_02_ke.html)
- 11) 厚生労働省保険局：特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準の施工について，保発第0117001号，平成20年1月17日
- 12) 小松龍史：栄養士の卒業教育の必要性和その展開，臨床栄養，Vol.113，No.2，162～166，2008
- 13) 三浦将司：栄養ケア・マネジメントの実務向上について，済生，Vol.185，No.6，52～53，2009
- 14) 松田美佐他：ケータイのある風景 テクノロジーの日常化を考える，北大路書房，2006
- 15) 角一典：旭川地区家庭生活カウンセリングマインド研修3級講座資料，携帯電話と若者文化，2007
- 16) 大嶽紀子：大学生の仕事意識(1)－進路決定状況の経過による比較－，日本教育心理学会総会発表論文集，Vol.50，513，2008
- 17) 安藤史高：保育系短期大学生の就職動機付けに対して自律的欲求，進路変更が及ぼす影響，一宮女子短期大学紀要，Vol.46，71～78，2007
- 18) 南正信他：福祉系短期大学生の進路決定過程における自己効力感と大学選択動機との関連，つくば国際短期大学，Vol.35，91～96，2007
- 19) 斎藤長徳他：栄養管理実施加算とこれからの栄養ケア，臨床栄養，Vol.110，No.6，2007
- 20) 小森まり子他：カウンセリングマインドを使った栄養指導のための面接技法，チーム医

療, 20~25, 2002

- 21) 田村由美他: 「褥瘡対策チーム」に所属する専門職のチーム医療に対する認識, 神戸大学医学部保健学科紀要, Vol.20, 21~33, 2004
- 22) 芦川修貳: 模擬授業参加者の栄養士イメージに関する一考察, 実践女子短期大学紀要, Vol.27, 57~71, 2006
- 23) 岸田典子他: 女子学生の食行動パターンと生活習慣・健康状況との関連, 日本家政学会誌, Vol.56, No. 3, 187~196, 2005
- 24) 松月弘恵他: 女子大生の献立作成能力に関する研究, 東京家政学院大学紀要, Vol.41, 159~168, 2001
- 25) 西村美津子: 栄養士養成課程の給食管理実習における献立作成に関する要因について, 山陽短期大学, Vol.38, 11~20, 2007
- 26) 村山伸子: 管理栄養士養成教育の改革と大学教育: 新潟医療福祉学会誌, Vol.4, No.2, 43~48, 2005
- 27) 佐々木ルリ子: 栄養士の献立作成課題の取組の実態と自己評価: 仙台白百合女子大学紀要, Vol.11, 107~117, 2007
- 28) 安原安代他: 管理栄養士養成課程学生の調理力の実態とその解析: 女子栄養大学紀要, Vol.37, 59~72, 2006